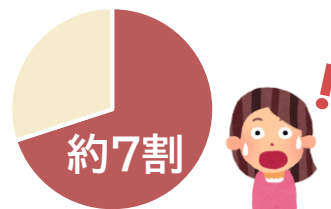




「人生会議」もしものときのこと、話し合ってみませんか

人は誰もが命に係わる病気やケガをする可能性があります。そんな状況になったとき、約7割の人は自分がどんな医療やケアを受けたいのか伝えるのが難しくなると言われています。「そうなった時に考える」では間に合わないことが多いのです。

人生の最終段階で何を大切にしたいのか、どんな医療やケアを望んでいるのかについて、家族や信頼する人たちと話し合っていくことで、あなたの考えに沿った医療やケアを受けられる可能性が高くなります。なかなか話しにくい話題かもしれませんが、元気に過ごしている時こそ、力まず、ざっくばらんに話し合うチャンスです。もしものときのことについてヒントに沿って考えてみましょう。



もしものとき、どんな医療行為を受けたいのか伝えられないケース

● こんなとき、あなたならどうしますか？

ご自分に当てはまるものを選んで、思い浮かんだことを書き込んでみましょう。



① もし、生きられる時間が限られているとしたら、あなたはどんなことを大切にしたいですか（いくつでも）

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 家族や友人と一緒にいたい | <input type="checkbox"/> できる限りの医療を受けたい |
| <input type="checkbox"/> できるだけ家で過ごしたい | <input type="checkbox"/> 少しでも長く生きたい |
| <input type="checkbox"/> 仕事や役割をまっとうしたい | <input type="checkbox"/> 痛みや苦しみをできるだけ少なくしてほしい |
| <input type="checkbox"/> 趣味など好きなことをしたい | <input type="checkbox"/> 自分や家族が経済的に困らないようにしたい |
| <input type="checkbox"/> 一人の時間を大切にしたい | <input type="checkbox"/> 身の回りのことは自分でしたい |
| <input type="checkbox"/> 家族に負担をかけたくない | <input type="checkbox"/> その他 _____ |

② これまで身近な方が重体や危篤になったときの経験を思い出してみてください。ドラマや映画で見たシーンでもかまいません。

◆ こんな最期だったらいいな、こんな医療やケアを受けたいなと感じたのはどんなことですか？

◆ こんな最期は嫌だな、こんな医療やケアは受けたくないなと感じたのはどんなことですか？

③ もし、自分の意思を伝えられなくなったり、自分では決められなくなったときに、あなたの代わりに医療やケアについて話し合えるのはどなたですか？

◆ 名前 _____ ◆ 間柄 _____

◆ なぜその方なのですか？ _____

◆ そのことはご本人に伝えてありますか？ すでに伝えてある まだ伝えてない

● 話し合うタイミングときっかけ

ヒントをもとに考えたことは、ぜひ家族や周囲の方たちと話し合ってみてください。次のようなタイミングであれば自然な流れで話しやすいようです。

- ◆ 年末年始やお盆など家族が集まる時
- ◆ テレビで医療や介護のことが取り上げられている時
- ◆ 健康面の変化が気になり受診した時
- ◆ ご近所の方が亡くなられた時

最初は世間話からで大丈夫です。まずはご本人が何を大切にしたいと思っているのか、これまで何を大切にしてきたのかという価値観を一緒に話し合ってみましょう。

もしものときのどうするのかという考えは、心身の状態や周囲の状況によって常に変化していくものです。主治医や病院スタッフとも情報を共有しながら一緒に考えていきましょう。



私たちは緩和ケアチームです

緩和ケアはがんが診断されたときから必要に応じて行われます。治療中の不調や気分の落ち込みなどの問題が患者さんの日常生活を妨げることがあります。患者さんが生活の質を維持して、自分らしい生活を送ることができるよう、さまざまな職種が協力してサポートしていきます。

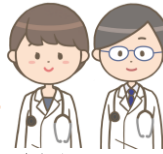
緩和ケア 認定看護師

苦痛症状を緩和するための専門的な知識や技術を提供します



緩和ケア担当医

身体・精神面のさまざまな症状を緩和します



薬剤師

薬剤についての提案や説明をします



がん相談支援員

治療・療養の疑問や困りごとを少しでも軽くできるように一緒に考えます



患者さん・ご家族



医療 ソーシャルワーカー

医療費・福祉制度・在宅療養に必要な各種サービス、転院先等に関する相談に応じます



管理栄養士

病態や病状に応じた適切な栄養管理を行います



リハビリ専門職

障害の予防や緩和と能力の回復・維持を目的にリハビリを行います



心理療法士

心のつらさを抱えている患者さん・ご家族へのサポートを行います



外来診察室

緩和ケア室

4B外来奥側

EV

中庭

本館1階

正面入口

お気軽にご相談ください

緩和ケア室では、緩和ケア認定看護師と心理療法士が体のつらさ、心のつらさをお聞きし、緩和ケア担当医師やソーシャルワーカーなどと連携して、みなさんの生活をサポートします。

電話での相談・相談予約もできます
北海道医療センター 代表番号

011-611-8111

